

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年8月21日 (2014.8.21)

【公表番号】特表2013-532035(P2013-532035A)

【公表日】平成25年8月15日 (2013.8.15)

【年通号数】公開・登録公報2013-043

【出願番号】特願2013-517408(P2013-517408)

【国際特許分類】

A 6 1 N 5/06 (2006.01)

A 6 1 K 31/197 (2006.01)

A 6 1 K 9/19 (2006.01)

A 6 1 K 9/14 (2006.01)

A 6 1 K 9/70 (2006.01)

A 6 1 K 47/38 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/00 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

A 6 1 P 27/16 (2006.01)

A 6 1 P 11/02 (2006.01)

A 6 1 K 49/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 N 5/06

A 6 1 K 31/197

A 6 1 K 9/19

A 6 1 K 9/14

A 6 1 K 9/70

A 6 1 K 47/38

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 1/00

A 6 1 P 15/00

A 6 1 P 27/16

A 6 1 P 11/02

A 6 1 K 49/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月7日 (2014.7.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

医薬組成物を運搬するための領域中に乾燥医薬組成物を含む、子宮頸部の癌、前癌性状態、および非癌性状態の光学的治療で使用するための照射装置であって、

前記照射装置が、腔に完全にかつ確実に挿入されるように構成されており、当該腔中にある場合に独立して動作可能であり、かつ、腔に完全に挿入され保持されるように構成されたハウジングであって、LEDランプシステムとLEDランプシステムに電力を供給する電源とを囲うハウジングを含み、

前記ハウジングが、略切頭円錐形の上部ハウジング部を含み、その前端部が、使用時に、子宮頸部およびその開口部を覆うような形状である治療面を形成し、これにより当該領域に照射が行われ、前記治療面は、前記乾燥医薬組成物を収容するための貯留部を形成し

、

前記乾燥医薬組成物が、

a) 5 - A L A ( 5 - アミノレブリン酸 )、5 - A L A の前駆体、または 5 - A L A の誘導体、およびその薬学的に許容される塩から選ばれる活性成分；

b) 良好なフィルム形成特性および / または良好なゲル形成特性を有する 1 以上のポリマー；ならびに

c) 任意で、他の薬学的に許容される賦形剤を含む、照射装置。

【請求項 2】

前記乾燥医薬組成物が、粉末、ケーキ、またはフィルムの形態である、請求項 1 または請求項 1 に記載の照射装置。

【請求項 3】

前記乾燥医薬組成物が、フィルムの形態である、請求項 2 に記載の照射装置。

【請求項 4】

前記乾燥医薬組成物が、フィルムコーティング法によって、溶剤蒸発によって、または凍結乾燥によって得られる、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の照射装置。

【請求項 5】

前記フィルムコーティング法が、ディップコーティングまたはスプレーコーティングである、請求項 4 に記載の照射装置。

【請求項 6】

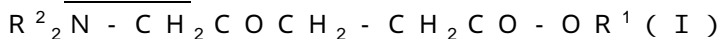
前記乾燥医薬組成物が、5 - A L A の誘導体またはその薬学的に許容される塩から選ばれる活性成分を含む、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の照射装置。

【請求項 7】

前記 5 - A L A の誘導体が、5 - A L A エステルである、請求項 6 に記載の照射装置。

【請求項 8】

前記乾燥医薬組成物が、式 I の 5 - A L A エステルまたはその薬学的に許容される塩を含む、請求項 7 に記載の照射装置。



( 式中、

$R^1$  は、置換または非置換アルキル基を表し；

$R^2$  はそれぞれ独立して、水素原子または基  $R^1$  を表す。 )

【請求項 9】

前記 1 以上のポリマーが、セルロースエーテル、ゲランガム、キトサン、キトサン誘導体、プルラン、アルギン酸塩、ヒアルロン酸、ヒアルロン酸誘導体、およびカラギーナンから選択される、請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の照射装置。

【請求項 10】

前記 1 以上のポリマーが、キトサン、キトサン誘導体、およびセルロースエーテルから選択される、請求項 9 に記載の照射装置。

【請求項 11】

前記乾燥医薬組成物が、活性成分と、1 以上のポリマー、好ましくは、セルロースエーテル、ゲランガム、キトサン、キトサン誘導体、プルラン、アルギン酸塩、ヒアルロン酸、ヒアルロン酸誘導体、およびカラギーナンから選択される 1 以上のポリマー、より好ましくは、キトサン、キトサン誘導体、およびセルロースエーテルから選ばれる 1 以上のポリマーとからなる、請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の照射装置。

【請求項 12】

前記乾燥医薬組成物が、凍結乾燥によって得られる、請求項 1 ~ 4 および 6 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の照射装置。

【請求項 13】

前記乾燥医薬組成物が、前記活性成分と、良好なフィルム形成特性および／もしくは良好なゲル形成特性を有する１以上のポリマーと、任意で、他の薬学的に許容される賦形剤とを適切な溶媒に溶解あるいは懸濁させることによって調製された液体の凍結乾燥によって得られる、請求項１２に記載の照射装置。

【請求項１４】

前記適切な溶媒が水であるか、または溶媒の混合液、好ましくは、水とアルコールとの混合液である、請求項１３に記載の照射装置。

【請求項１５】

前記乾燥医薬組成物がさらに、１以上の他の薬学的に許容される賦形剤を含み、前記１以上の他の薬学的に許容される賦形剤が、好ましくは、可塑剤、着色剤、増粘剤、崩壊剤、粘膜付着剤、表面浸透促進剤、および／またはキレート剤から選択される１以上の他の薬学的に許容される賦形剤である、請求項１～１０および１２～１４のいずれか１項に記載の照射装置。